

2015（平成27）年6月20日

2015（平成27）年度 私立短期大学図書館協議会 全国理事会 議事録

日 時：2015年5月14日（木） 14:00～17:00

場 所：林野会館

出席者：19名（敬称略）

【本部】＜亜細亜大＞毛利和弘、＜千葉経済大＞齊藤誠一、＜大阪大谷大＞前川和子、
＜北海道武蔵女子短大＞木村修一、＜カリタス女子短大＞石田孝夫、
＜聖徳大＞林浩次、＜女子栄養大＞加藤友子、＜目白大＞米内優子、＜山野美
容芸術短大＞久保田智弘 以上9名

【地区】[北海道]＜北海道武蔵女子短大＞ 佐々木勝志・玉田清市
[東北]＜修紅短大＞ 小林薫子
[関東甲信越]＜埼玉東萌短大＞ 片野裕嗣
[東海・北陸]＜仁愛女子短大＞ 三和優・竹下真弓
[近畿]＜大阪キリスト教短大＞ 岩見朗代
[中国・四国]＜高知学園短大＞ 今村優子
[九州]＜福岡こども短大＞ 木村鈴代、服部美幸 以上10名

司会・進行：毛利（会長）

配付資料：①議事次第、役員名簿、出席者名簿 ②各地区報告書、通信等
③全国総会資料

1. 会長あいさつ

毛利会長より、最初に①地区協議会との情報交換、②総会開催にあたっての事前準備、③事業計画の今後の方針を決めること、など、理事会の目的について説明がなされた。特に、事業計画に関連し2015年度の全国研修会是非開催年に当たるが、2016年度の全国研修会の基本的な方向性（地区協議会との合同開催の可能性など）の確認をしたいとの話があった。

2. 報告とお願い

毛利会長より、①本協議会の会員数が減る傾向にある中で、財政面の観点からも各地区に、新規賛助会員（1～2件）の勧誘のお願いがあった。②未加盟館に対しては、特に短大単独館はネットワークの基盤づくりにもなるので、各地区からも勧誘をお願いしたいとの依頼があった。③研究誌「短期大学図書館研究」について、全国的なアンケート調査を行った場合は集計結果を、他にも講演会、事例報告、また一般論稿としては図書館業務に関する研究報告等は館員の業績となるので、論稿

化してほしいとのお願いがあった。

3. 自己紹介

出席者 19 名の自己紹介。

4. 各地区事業報告

北海道から九州の順で、昨年度の地区事業状況、本年度の会勢と事業計画案が報告された。

5. 総会について

事業報告、決算・監査報告、新役員、事業計画、予算案の確認を行った。

(1) 総会議長について

毛利会長より指名があり、本部理事の木村修一氏にお引受けいただいた。

(2) 事業報告、決算、監査報告

2014 年度の事業報告の後、加藤氏から決算報告、久保田氏より監査報告があった。

(3) 新役員について

毛利会長より、任期満了となる本部理事 4 名には了解を得ているので再任をお願いしたいとの申し出があり、了承された。また、本部会計担当に目白大学の米内氏、監査担当に女子栄養大学の加藤氏、鶴見大学の近藤氏についても了承された。

(4) 事業計画、予算

2015 年度事業計画案の確認の後、加藤氏より予算案について説明があった。

6. 全国研修会の方向性について

毛利会長より、2016 年度の全国研修会の件について提案があった。

(1) 2016 年度の全国研修会に向けて

2016 年度の全国研修会及び今後の全国研修会について、予算のこともあり、2014 年度の関東甲信越地区との合同開催例のように本部予算の研修費と地区予算の研修費を合わせて各地区との合同開催ができないかとの提案があった。また、運営方法としては、①関東甲信越地区との合同開催のように地区予算から研修会費を本部に拠出してもらい、企画・運営は全て本部が行い地区は会場担当になってもらう合同開催方式。②前日の午前中は本部開催、午後は地区開催、翌日は本部開催といったジョイント方式(予算は別会計)、案等が具体的に示された。

これに対しての意見交換の後、東北地区から震災の復興をかねて、例えば「ブリティッシュヒルズ(福島県)」を会場に、企画・運営は本部が行うという方向性で進めることも可能であるので 10 月の定例総会で計りたいとの提案があり、

東北地区開催に向け検討を進めることになった。なお、「ブリティッシュヒルズ」は神田外語大学を運営する学校法人佐野学園が設立した施設で、英国の伝統文化が体験できる研修プログラムが用意されているので神田外語大学関係者から情報を入手することになった。

(2) 地区情報交換会

各地区より情報交換がされた。

以上